

平成28年2月22日

南 砺 市 長
田 中 幹 夫 殿

二日町22区自治会
会長 畠中 伸

侵入防止柵の要望書

田中市長殿には日頃市政にご尽力いただき感謝申し上げます。

さて本要望につてですが、市道寺家高儀線の西側歩道が市道二日町13号線を挟んで歩道幅が大きく違うため、南側から歩道を直進すると深い用水に転落します。昨年3月、二日町在住の方が、歩道を直進し用水に転落し足を骨折する大けがをしています。

この場所は福野小学校の通学路となっており、歩行者が比較的多いように思われます。2度目の事故が発生する可能性が十分ありますので、下記のとおり侵入防止柵を要望します。

業務多忙の折とは存じますが、なにとぞ本要望にご理解をいただき迅速な対応をよろしくお願い申し上げます。

建設課 道路河川維持係 H27-086-001

記

- | | |
|---------|---|
| 1. 要望箇所 | 市道寺家高儀線と二日町13号線の交差点 |
| 2. 要望内容 | 侵入防止柵(5m)の設置 |
| 3. 要望理由 | 二日町13号線を挟んで歩道幅が大きく異なるため、直進すると深い用水に転落し大けがをする恐れがあるため。 |
| 4. 添付資料 | 位置図、現況写真 |

別紙 1

以上



位置図、現況写真および保安柵設置案

位置図



市道寺家高儀線の北側歩道が、二日町13号線を挟んで歩道幅が大きく違うため、誤って深い用水に転落する恐れがあります。

現実に二日町の住民が、ここで転落し、足の骨を折る大けがをしています。この歩道は通学路であり、朝晩多くの学童が通行しているので早急な保安柵設置を要望します。

